消化器内科（必修）

１．到達目標

（１）消化器内科疾患患者を指導医とともに担当し、自身の臨床的能力を向上させることを目標とする。具体的には消化管疾患、肝臓疾患、胆膵疾患の急性期、慢性期、及び終末期患者の病態を把握し、治療をすすめながら内科専攻医としての基本的手技を学ぶ。エコー検査手技を学ぶ。

（２）病棟業務・外来業務を研修し、カンファレンスや症例検討会でプレゼンテーションを行う。

（３）経験した症例を内科学会で発表する。

２．方略（LS）

（１）　外来診療

週１回内科外来で、一般内科（消化器内科疾患を含む）の初診・再診患者を指導医ともに診察する。

（２）　病棟診療

ア　担当する入院患者の医療面接・診察とその記載を行い、指導医のチェックを受ける。

イ　担当する入院患者の病態を把握し、自分で検査計画を立案し指導医のチェックを受け、的確な検査指示の出し方を習得する。検査結果を指導医の助言のもとで評価する。

ウ　担当する入院患者に対する治療に関して、ガイドラインや文献を参照し、指導医の助言のもとで、適切な治療法を選択する。また、治療効果の判定を指導医とともに行う。

エ　検査結果の説明や治療法の選択に関して、指導医とともに患者・家族に説明する。

オ　週１回、消化器内科カンファレンスで、治療方針、検査・治療結果について検討する。

（３）　初期救急対応

救急受診した消化器内科疾患患者の初期対応を指導医とともに行う。

ア　患者の症状、他覚的所見から、病態を短時間で把握することを、指導医から学び、実践する。

イ　診断や治療に必要な検査を自分で決定し、指導医から学び、実践する。

ウ　検査結果の説明や治療法の選択に関して、指導医とともに患者・家族に説明する。

３．評価（Ev）

全科共通の評価表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用いて評価

4．週間スケジュール

	月	火	水	木	金
朝					消化器外科合同カンファレンス
午前	病棟業務 腹部超音波検査	病棟業務 症例まとめ プレゼンの練習	病棟業務 上部消化管内視鏡（指導医とともに実施）	病棟業務 上部消化管内視鏡（指導医とともに実施）	病棟業務 外来業務（臨床研修指導医の指導のもと） 緩和ケアカンファレンス
午後	病棟業務 胆膵内視鏡	病棟業務 肝臓処置 文献検索・学会発表準備など自己研鑽	病棟業務 消化管治療内視鏡（ESD など） 月 1 回地域消化器カンファレンス	病棟業務 消化管治療内視鏡（ESD など） 胆膵内視鏡	病棟業務 腹部血管造影
夕	チームカンファレンス	消化器内科カンファレンス	チームカンファレンス	チームカンファレンス	チームカンファレンス